

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 2 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200404		
法人名	医療法人 好 縁 会		
事業所名	グループホーム ふれあい大須		
所在地	広島県安芸郡府中町大須四丁目5番6号 (電話) 082-508-2400		
自己評価作成日	平成31年1月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200404-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3473200404-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年2月1日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者様の「その人らしいあたりまえの生活」と「自立支援の介護技術習得」に力を入れ、取り組んでいます。生活の主体を入居者様に据えることを基本とし、ご家族様にも安心していただけるよう家族支援にも力を入れています。終末期ケアも多くの実績を重ね貴重な経験を積んできました。2ユニット間の垣根を外し、いつでもどこでも業務に従事できる体制を整え、ひとつの家での「共に在る」を形にし、無理をしない待つ介護を実践しています。又、職員にはリフレッシュ休暇を順次取り入れています。法人内の充実した研修制度にて、マイスター試験等、知識技術の向上を図り、法人が示す3K（感謝・感動・幸福）を目標に日々邁進しています。ホームを囲む近隣は利便性が良く、地域資源が豊かで恵まれた環境といえます。インフォーマルな資源を有効に活用できる条件も揃い、安心安全で潤いのある良質のサービスに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

JR矢賀駅から程近く利便性に富んだ環境にあり、長年にわたり地域とのふれあいを紡ぎながら利用者の健全で穏やかな生活を育んでいる。母体が医療法人であることから、医療・看護・介護のトータルな視点でチームケアに取り組み、各種職員研修やマイスター制度で職員のスキルアップを図ると共に新たに「ハッピーライフクリエイター制度」を設け、利用者がその人らしく暮らし幸せ感のある生活に向けた支援に努めている。府中町グループホーム連絡会の活動で「民家カフェ椿」を毎月開催し、ミニ料理講座・介護相談など気軽に参加できる集いの場としてオレンジプランに関する地域貢献に励んでいる。多方面からのボランティアの受け入れや、家族の協力を得ながら一泊旅行を企画し行うなど、地域との絆を深めつつオープンマインドなケアを目指し尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	基本理念、価値観、行動指針、好縁会生活づくり10か条を基に、管理者と職員はその意図を共有し、実践している。朝礼時は全員で復唱し、その日の目標を絞り、サービスの質へ反映させている。	法人理念であるミッション・ビジョン・バリューを主軸にした実践目標・行動指針を勘案し事業所の年間目標や個人目標を定め、年度毎に達成度を確かめ職員間で意識統一を図っている。朝礼時に唱和し、ミーティング時などで省みてケアサービスのクオリティアップにつなげるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域で行われる秋祭りへの参加や、毎月の府中町連絡会議主催認知症カフェへの参加、近隣の障害者支援施設の方にパンの移動販売に来ていただくことで交流を深めている。	大型ショッピングモールが近く、買い物や散歩で地域住民との挨拶や会話など普段の関わりを大切にしている。秋祭りなど季節行事への参加やオレンジカフェの企画開催を通じて多彩なふれあいの時を設け、インフォーマルサービスを有効活用しつつ更に地域との絆を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー指導の下、専門的な認知症ケアについて常に向上心を持ち、地域の方から電話や訪問にて相談を受けたときは誠意を持って対応している。認知症サポーター養成講座にも出かけ認知症への理解を発信している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容における意見交換を実施している。会議におけるご意見等は家族様にも発信し、日常のサービスに反映するよう努めている。	隔月開催の当会議には行政関係者・地域代表者・民生委員・家族他の参加を得て、行事等の報告や質疑応答など会議内容の充実を図っている。消防署からも参加がありアドバイスを受け、各々の勉強の機会として地域に根差した防災対策を講じている。議事録を家族に送付し共有化している。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者にも運営推進会議参加メンバーになっていただき、情報交換を行っている。役場の窓口にも積極的に相談など行いアドバイスを受け連携を図っている。又、毎月初めに空き状況の報告を行い、行政のインターネットに情報を載せていただいている。	府中町グループホーム連絡会の活動で「民家カフェ椿」を毎月開催しミニ料理講座や介護相談など、地域住民や家族も気軽に参加できる機会づくりとして地域貢献している。普段から申請・手続き・相談などで密に連携し、入居に関する情報交換ほか協力関係を結んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束等禁止委員会を設置し、身体拘束の危険性やどのような行為が身体拘束にあたるのか等を、研修や勉強会によって全職員が定期的に学び、ケアにおいて実践するよう周知徹底を行っている。</p>	<p>日頃からスピーチロックを含めた制約をなるべく加えないケアに努め、離床センサーを活用し、様子観察による見守りの姿勢を心がけている。二か月毎の身体拘束適正化委員会で職員間の意識を高め、ケアカンファレンスで検討し個々のケースの見直し強化に取り組んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止委員会を設置し、どのような行為が虐待に当たるのかを知り、虐待に繋がる問題の解決案を探る等、全職員が研修を受け周知徹底している。絶対に行わないことを基本とし虐待の撲滅を図っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度の理解を研修で学び、具体的なニーズが発生した場合は、家族様や関係者と話し合い、必要とされる制度利用について活用できるよう支援している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書及び契約書他、同意書等を提示し、具体的に丁寧な説明をするよう努めている。利用者様及び家族様からの不安や疑問点等は、可能な限り解消していただけるよう、相手の立場に立ち、適切な説明を行っている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様からは日常的に可能な範囲で意向確認をし、家族様からは面会時・FAX・電話等で意見を頂戴している。又、運営推進会議においても家族様からの意見を頂戴し、運営に反映するよう努めている。玄関先にご意見箱の設置もしている。</p>	<p>主に面会やイベント時で家族他の意見を伺い集約検討し運営への反映に努めている。運営推進会議への家族参加を更に呼び掛け、人材育成やケアの在り方についてなどの率直な意見交換を関係者共々行ない、家族意見を活かしたより良いサービスに向け職員間で尽力している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回合同カンファレンス開催時に管理者が出席し、職員の意見を聞き運営に反映するよう努め、業務改善を行っている。又、全体会議も年2回開催し、意見交換の場を設け、適正な運営に反映するよう努めている。	法人内研修・マイスター制度などでブラッシュアップを図り、新人職員育成や援助者としての心構えなど研修部による指導を仰ぎながら日々のケアに臨んでいる。チャレンジシートに個人目標を掲げて意識付けに努め、系列事業所との交換研修で情報交換し職員の意見を反映した職場環境整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員個々の面談を適宜行い、条件の整備や良好な職場環境が保てるよう努めている。研修の助成金制度も充実し、職員がやりがいや向上心を持って働ける職場環境となっている。外部研修制度も設けてある。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内に教育研修部があり、年間の研修予定が綿密に立てられ、頻繁に実施されている。外部研修についても、研修費補助や業務内研修が認められ、参加し易い体制が整っている。また必要に応じて、研修部に個別研修の依頼をすることができるシステムとなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町が主催する関係者協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に定期的に出向き情報交換等により連携を図っている。行事など合同開催もしている。又、交換研修も定着しており、相乗効果を踏まえ、サービスの質の向上を目指している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションに重点を置き、サービス利用に対する心情や意向を的確にお聴きし、その人らしさに耳を傾けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用開始前、事前面談の段階で、サービスに対する思いや要望等をご家族の立場に立って細かく伺い、思いを汲み、信頼関係を構築するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話での相談時には、ご本人やご家族に今必要な支援を伺い、意向に添ったサービス利用の提供ができるよう努めている。他の施設のサービス等の状況を把握し、適切な情報が提供できるよう、努力をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様への尊敬の念を忘れず、意思や人格を尊重するよう努めている。又、ご自分で出来る事はしていただき、出来ない事を職員がそっと手助けをし、自立支援に向けた関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様の不安や心配事を伺い、ケアの方向性を一緒に考え、共に本人を支えていく関係の構築に努めている。外出・外泊などのご協力も頂き、絆を大切にしている。家族様同行の行事や一泊旅行の実施もでき、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者の知人・友人には気軽に来所していただける環境作りに努めている。来所時にはリラクセスして頂ける環境整備を行い、心配りを怠らないようにしている。	馴染みの理美容の訪問では、おしゃれや整容を楽しみ、元職場関係者や友人との懐かしい旧知の関係性を大切にしたい支援に配慮している。多数の家族参加がある家族会やオカリナ演奏・フラダンスなどのボランティアとの交流もアットホームな関わりの輪として喜ばれ利用者の楽しみなひと時になっている。	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の関係性や会話が弾むよう配慮し、その時々に応じて配置転換を行い対応をしている。又、ユニット合同の遊びリレーションやレクレーションを行い、その中でユニット間の交流が図ることができるよう環境作りを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も、電話や来所にて相談を受けるケースは多い。可能な限り柔軟に対応し、これまでの関係性を大切にしている。隣接の商業施設やスーパーマーケットなどで出会うケースも多く、家族様の想いにフォローできるよう努めている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人にしっかりと寄り添う機会を少しでも多く作り、意向の把握に努めている。意思疎通の困難な方には、ご家族の協力も頂き気持ちに寄り添えるよう努めている。	ライフストーリーシートに生活歴など基本情報を記し、日常サイクルの中で「利用者の心の本当の声」をしっかり汲み取り、理解した内容を個別記録し職員間で共有している。各々の思いに寄り添うケアに努め日々ケアプランへ反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サービス利用開始前面談にて、ご本人・ご家族から情報をお聞きし、馴染みの生活環境にあったお部屋作りに努めている。生活歴を詳しく知ることによって、その人らしい生活が送れるようサービスの提供に努めている。（ライフストーリー）		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行うと同時に、心身の様子を伺い、現状の把握に努めている。必要事項は生活状況表に記入し、共有している。又、訪問看護師による体調管理を行い、医療連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	原則1ヶ月毎のモニタリングを基に、ご家族の意見も反映しつつ職員間で見直しを行い、現状にあったプランの作成に努めている。又、体調の急激な変化等があった場合は随時見直しを行っている。	担当スタッフによる個々の様子観察や家族・医療関係者などの意見を取りまとめ、細やかな援助内容となるようプランづくりに留意している。円滑な生活活動や意欲につながるような利用者の幸せ感へのサポートと共に、毎月モニタリングを行い、急変時には随時見直しに取り組んでいる。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活状況表に記録し、更に工夫したい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報の共有をしている。又、個別記録により個々の状況を詳しく記入し、情報を共有した上で実践し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存サービス外のニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合等、他職種との連携を図りながら、柔軟な支援に努めている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	周辺の医療・消防・警察との連携を図り、安全で快適に暮らしていけるよう努めている。近隣でなじみのある店や場所にランチ外出等実施し、豊かな暮らしを楽しんで頂けるよう支援している。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医はご本人・ご家族の希望を第一に置き、スムーズな受診ができるようご家族と情報交換を行っている。かかりつけ医との納得が得られた受診を心がけている。	法人ドクターを主治医とする利用者がほとんどで、定期的な内科・歯科の訪問診療や訪問看護により健康管理を図っている。日々のバイタルチェックを生活状況表に記し状況変化の共有に努め、緊急時にも迅速な対応を行っている。服薬管理・感染症予防対策を強化し利用者の健康維持に留意している。	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師が定期的に来所し、ご利用者の体調変化や状態の変化について職員と共有・連携を図り、健康管理を行っている。又、24時間いつでも連絡が取れる体制で医療面での協働を保っている		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、医師からの紹介状だけでなく介護士が付き添い日頃の状態や急変時の状態について説明している。入院後も面会に行き入院先の看護師より情報を頂きスムーズな退院に結び付けている。入院先の退院支援室等関係者とは、日頃より良好な関係作りに努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期の意向、方針等をご家族・医師、関係者を交え話し合い、終末期ケアに取り組んでいる。ご家族の不安を少しでも取り除き納得のいく終末期となるよう書面にて事前確認をさせて頂いている。週に1度はカンファレンスを開催し、関係者が意見交換を行い、方針を共有したチームで支えるケアに取り組んでいる。	終末期に向けた指針があり、入居時の家族への説明や職員研修をはじめ体制が整っている。看取り希望には十分な説明に加え、家族ほかと合意の上計画書を作成し、温かみのある寄り添う支援を心がけ、医療のバックアップを含めたチームケアに取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	府中町消防署の方に依頼し救急蘇生法等の講習会を開催して頂き、全職員が参加し実践力を身に付けている。又、法人内の医療とも連携し指導・助言を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	最低年2回、災害時等避難防災訓練を実施している。消防署の方にも来て頂き、消火器を使用しての消火訓練等指導を受けている。訓練参加が可能な利用者様も職員と一緒にいる。町内会との災害時応援協定を締結し、協定に沿った合同訓練も行い地域との協力体制を築いている。	運営推進会議にも消防署員が参加し、定期的な防災避難訓練でも的確なアドバイスをしつつ、利用者・家族と共に意識を深めている。施設を避難場所として提供し、水・簡易食・救援備品などストックの配備に加え、大須北町内会との合同防災防火訓練実施により地域ぐるみの減災活動への更なる取り組みに努めている。	



自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭においた言葉がけや対応で、利用者様の人格を尊重している。敬うことを原則徹底し、寄り添い接している。個人情報や個々の書類も施錠できる収納庫で管理しプライバシーに配慮している。	一声かけてから居室に入る・トイレ誘導の際は声のトーンを落とすなど、日々のケアの中で利用者の自尊心やプライバシーを損ねないよう心がけている。礼節をわきまえた言葉掛けや温かみのある接遇に努め、その人らしく過ごせる支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや感情を自由に表出できるような雰囲気づくりを行い、自己決定できるようにし、話しやすい環境を作っている。思いの表出が困難な方へは職員がその人の立場になって考え、思いを汲むようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一律スケジュールに合わせるのではなく、利用者様の状況や希望に沿った支援ができるよう努め、その人のペースやリズムを大切に生活を送っていただいている。生活全般個別性を重視し過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に1度訪問理美容が入り、その方や家族様にとって好みの整容がなされている。馴染みの理美容院に出かける方もいる。又、日常では服を選んでいただくことやお化粧の楽しみを支援している。言葉が発せられない方であっても洋服を目で見てもらい、自己決定していただきおしゃれをができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しい食卓の雰囲気づくりを心がけ、盛り付け、配膳、下膳、食器洗いも職員と一緒にしている。好みや力を活かしながら食事が楽しめるようテーブルや席にも工夫をしている。ユニット合同で食卓を囲み食事を楽しんで頂くことも頻繁にある。	個々の嗜好や食事形態に配慮し、それぞれのペースに合わせた介助を心がけている。食事の下ごしらえや盛り付けなどを利用者と共にしない、会話を交えた楽しい時間になるよう努めている。ホテルランチや家族との外食など、時には気分を変えた食事タイムも設けている。	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分摂取の重要性について、職員が理解し、必要量の確保に努めている。個々に合わせた栄養補助食品や嗜好品なども導入し提供している。又、習慣に応じた個別性を重んじている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを欠かさず行なっている。訪問歯科往診を受け、口腔衛生管理が行われ、歯科医より指導を受けている。うがいが出来ない方においては、スポンジブラシを使用し、口腔内の清潔保持に努めている。食前の口腔体操も行い嚥下機能等の低下予防に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンのリズムや習慣を把握し、基本的におむつの使用はしていない。紙パンツもできるだけ使用せず布パンツでの自立支援をしている。職員は気持ちの良い排泄について学び、排泄の失敗を体感することによってその人の気持ちを汲む支援に活かしている。</p>	<p>個々のパターンやタイミングを見計らいトイレ誘導を行なっている。気持ちよく排泄できるよう、パッド交換や誘導時の声掛けの工夫に努め自立に向けた支援に取り組んでいる。水分補給や便秘予防食材を取り入れるほか、日中の活動量を増やし筋力保持を心がけたケアに努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食後のトイレ誘導等日々心がけ、自然排便ができるよう働きかけている。医師、看護師と連携を図り便秘予防や対策も行っている。繊維質の多い食事やヨーグルト等毎日提供し、個々に応じた対応をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り希望に沿った入浴の支援に努めている。出来るだけ同性の職員が介助を行えるようユニットを超えて連携を図り、心身ともに気持ちの良い入浴ができるようにしている。時間や曜日の取決めは行わず自由に入浴していただき、複数同時の仲良さ入浴も行っている。</p>	<p>出来る限り各々の要望に沿った時間や同性介助など柔軟な対応で支援している。ゆっくりと心身ともにリラックスしながら職員との良好なコミュニケーションの場としても有効なひとときとなっている。折りに触れ季節の香りを湯舟に浮かべ、入浴後も保湿クリームで肌の状態を守っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居前の生活スタイルを壊さない よう、起床や就寝時間を可能な 限り要望に合わせている。日中 も午睡や居室での休息がもちよ くできるよう、その人の習慣や 状況に添うようにしている。環 境整備にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	内服薬リストは全職員がいつでも 確認できる場所にファイルして いる。症状の変化などが見られ た場合には、職員間での連携を 密に図り、速やかに医師・看 護師に連絡を行ない確認に努 めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	その人にとっての楽しみごとや 役割等を、ライフストーリーや アセスメントで情報収集し、日 々の生活で継続しながら気分 転換ができるように、個別性 を取り入れた支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるよう支援している。	馴染みの飲食店や友人宅訪問等 希望に沿った個別支援を実施 している。又、家族様や地域 の方にご協力いただき、定期 的な外出・外泊される方もい る。家族旅行を実現される方 や、団体での一泊旅行等、本 人様と家族様の希望に沿っ て出かけられるよう支援して いる。	天気の良い日の散歩や買い物 に加え、ランチ外出や家族と の外出など個別に対応し支援 している。年間行事として花 見・紅葉狩りほか季節を愛で る機会や、宮島への一泊旅行 などを家族と共に楽しみ思い 出のひとつづくりを企画し 行なっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	希望や能力に応じて、買い物 ができるようご家族同意のう え支援している。職員が付き 添い、お金を所持・管理・支 払いまでご自分でされる方も いる。職員はご本人がお金 を持つことの大切さを理解し 傍に寄り添うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( A )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の携帯電話での発信・受信、通話等、間に入り戸惑われないよう支援している。又、手紙や年賀状等、直筆で書いて頂くことを支援している。ご本人に書いていただく際には、負担にならない程度のアドバイスをさせて頂き、大切な人との関係を壊さないよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースにも空気清浄機・加湿器を設置し快適に過ごして頂ける環境を作っている。空間には季節に応じた匂いの花を飾り季節感を出している。不快や混乱を招くような物品等を除き、生活感のある環境整備に配慮し、居心地の良い空間づくりに努めている。	適湿適温の室内調整や季節を感じる飾り付けに配慮し、利用者が落ち着いて過ごせるよう家庭的な設えとなっている。安全面に配慮し物品整理を行なってすっきり感を出し、六角テーブルや椅子、ソファで各々が寛げるよう清潔面にも留意し、談笑やレクリエーションの楽しめるスペースづくりを心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有スペースには食卓用の椅子の他、ソファを置くことでゆったりと過ごしやすい環境を整えている。また玄関先にもベンチを置き気分を変えて過ごしていただいている。利用者様の希望により家具や席の配置を変えることもある。気の合う仲間同士で思い思いに過ごされるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人が自宅で使われていた馴染みの家具や物品を持って来て頂けるよう家族様に相談している。鏡台や仏壇に手を合わせるなど習慣や馴染みの環境を大切にしている。家族様の写真なども飾っていただいている。なるべく入居前のお住まいに近い形で居室のレイアウトをしている。	居室入口にはフルーツや植物のプレートを掛け識別しやすくする工夫や、個性を活かした趣味の品々、花、家族写真などを飾り寛いで過ごせるように配慮している。家庭に居るようにゆっくりと個々の時間が持てるよう慣れ親しんだ環境づくりに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	人感センサーなどを使い、安全に生活できる様配慮している。トイレや居室の位置はわかりやすいように看板や目印をつけている。車椅子の方の目線に合わせた高さの表札を付け、出来ることやわかることに活かして頂けるよう工夫している。待つ姿勢と見守りで自立支援をサポートしている。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	基本理念、価値観、行動指針、好縁会生活づくり10か条を基に、管理者と職員はその意図を共有し、実践している。朝礼時は全員で復唱し、その日の目標を絞り、サービスの質へ反映させている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域で行われる秋祭りへの参加や、府中町連絡会議の毎月認知症カフェへの参加、近隣の障害者支援施設の方にパンの移動販売に来ていただくことで交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー指導の下、専門的な認知症ケアについて常に向上心を持ち、地域の方から電話や訪問にて相談を受けたときは誠意を持って対応している。認知症サポーター養成講座にも出かけ認知症への理解を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容における意見交換を実施している。会議におけるご意見等は家族様にも発信し、日常のサービスに反映するよう努めている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者にも運営推進会議参加メンバーになっていただき、情報交換を行っている。役場の窓口にも積極的に相談など行いアドバイスを受け連携を図っている。又、毎月初に空き状況の報告を行い、行政のインターネットに情報を載せていただいている。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束等禁止委員会を設置し、身体拘束の危険性やどのような行為が身体拘束にあたるのか等を、研修や勉強会によって全職員が定期的に学び、ケアにおいて実践するよう周知徹底を行っている。</p>		
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止委員会を設置し、どのような行為が虐待に当たるのかを知り、虐待に繋がる問題の解決案を探る等、全職員が研修を受け周知徹底している。絶対に行わないことを基本とし虐待の撲滅を図っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度の理解を研修で学び、具体的なニーズが発生した場合は、家族様や関係者と話し合い、必要とされる制度利用について活用できるよう支援している。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書及び契約書他、同意書等を提示し、具体的に丁寧な説明をするよう努めている。利用者様及び家族様からの不安や疑問点等は、可能な限り解消していただけるよう、相手の立場に立ち、適切な説明を行っている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様からは日常的に可能な範囲で意向確認をし、家族様からは面会時・FAX・電話等で意見を頂戴している。又、運営推進会議においても家族様からの意見を頂戴し、運営に反映するよう努めている。玄関先にご意見箱の設置もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回合同カンファレンス開催時に管理者が出席し、職員の意見を聞き運営に反映するよう努め、業務改善を行っている。又、全体会議も年2回開催し、意見交換の場を設け、適正な運営に反映するよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は職員個々の面談を適宜行い、条件の整備や良好な職場環境が保てるよう努めている。研修の助成金制度も充実し、職員がやりがいや向上心を持って働ける職場環境となっている。外部研修制度も設けてある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内に教育研修部があり、年間の研修予定が綿密に立てられ、頻繁に実施されている。外部研修についても、研修費補助や業務内研修が認められ、参加し易い体制が整っている。また必要に応じて、研修部に個別研修の依頼をすることができるシステムとなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	町が主催する関係者協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に定期的に出向き情報交換等により連携を図っている。行事など合同開催もしている。又、交換研修も定着しており、相乗効果を踏まえ、サービスの質の向上を目指している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションに重点を置き、サービス利用に対する心情や意向を的確にお聴きし、その人らしさに耳を傾けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用開始前、事前面談の段階で、サービスに対する思いや要望等をご家族の立場に立って細かく伺い、思いを汲み、信頼関係を構築するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話での相談時には、ご本人やご家族に今必要な支援を伺い、意向に沿ったサービス利用の提供ができるよう努めている。他の施設のサービス等の状況を把握し、適切な情報提供ができるよう努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様への尊敬の念を忘れず、意思や人格を尊重するよう努めている。又、ご自分で出来る事はしていただき、出来ない事を職員がそっと手助けをし、自立支援に向けた関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様の不安や心配事を伺い、ケアの方向性を一緒に考え、共に本人を支えていく関係の構築に努めている。外出・外泊などのご協力も頂き、絆を大切にしている。家族様同行の行事や一泊旅行の実施もでき、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者様の知人・友人には気軽に来所していただける環境作りに努めている。来所時にはリラックスして頂ける環境整備を行い心配りを怠らないようにしている。		



自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係性や会話が弾むよう配慮し、その時々に応じて配置換えを行い対応している。又、ユニット合同の遊びリレーションやレクリエーションを行い、その中でユニット間の交流を図ることができるよう環境作りを行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス終了後も、電話や来所にて相談を受けるケースは多い。可能な限り柔軟に対応し、これまでの関係性を大切にしている。隣接の商業施設やスーパーマーケット等で出会うケースも多く、家族様の想いにフォローできるよう努めている。		
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	ご本人にしっかりと寄り添う機会を少しでも多く作り、意向の把握に努めている。意思疎通の困難な方には、ご家族の協力も頂き、気持ちに寄り添えるよう努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	サービス利用開始前面談にて、ご本人・ご家族から情報をお聞きし、生活環境にあったお部屋作り・環境作りに努めている。生活歴を詳しく知ることによって、その人らしい生活が送れるようサービスの提供に努めている。（ライフストーリー）		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日のバイタルチェックを行うと同時に、心身の様子を伺い、現状の把握に努めている。必要事項は生活状況表に記入し、共有している。又、訪問看護師による体調管理を行い医療連携に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>原則1ヶ月毎にモニタリングを行い、ご家族の意見も反映しつつ職員間で見直しを行い、現状にあったプランの作成に努めている。また、体調の急激な変化等があった場合は随時見直しを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況表に記録し、更に工夫したい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報の共有をしている。又、個別記録により個々の状況を詳しく記入し、情報を共有したうえで実践し、介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存サービス外のニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合等、他職種との連携を図りながら柔軟な支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の医療・消防・警察との連携を図り、安全で快適に暮らしているよう努めている。地域性を活かしたインフォーマルなサービスの提供も行い、暮らしを楽しめるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人・ご家族の希望を第一に置き、スムーズな受診ができるようご家族と情報交換を行っている。かかりつけ医との納得が得られた受診を心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が定期的に来所し、状態観察を行いご利用者の体調変化や状態の変化について職員と共有・連携を図り健康管理を行っている。又、24時間いつでも連絡が取れる体制で医療面での協働を保っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、医師からの紹介状だけでなく介護士が付き添い日頃の状態や急変時の状態について説明している。入院後も面会に行き入院先の看護師より情報を頂きスムーズな退院に結び付けている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期の意向、治療方針等をご家族・医師を交え話し合い、終末期ケアに取り組んでいる。ご家族の不安を少しでも少なくしてさし上げ納得のいく終末期となるよう情報を共有し医師、看護師と連携をとり取り組んでいる。週に1度は関係者を交えカンファレンスを開催し意見交換を行いチームケアに繋いでいる。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	年1回は消防署の方に依頼し救急蘇生法等の講習会を開催して頂き、全職員が参加し実践力を身に付けている。又、法人内の医療とも連携し指導・助言を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	最低年2回、災害時等避難防災訓練を実施している。消防署の方にも来て頂き、消火器を使用しての消火訓練等指導を受けている。参加が可能な利用者様も一緒に行っている。町内会との災害時応援協定を締結し、協定に沿った合同訓練も行い地域との協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応で利用者様の人格を尊重している。敬うことを原則徹底し寄り添い接している。個人情報や個々の情報も施錠できる収納庫で管理しプライバシーに配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや感情を自由に表出できるような雰囲気づくりを行い自己決定できるように話しやすい環境を作っている。思いの表出が困難な方へはその人の立場に立って思いを汲むようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一律のスケジュールに合わせるのではなく、利用者様の状況や希望に沿った支援ができるよう努めている。その人のペースやリズムを大切に生活全般個別性を重視して過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理美容が入り、その方や家族様にとって好みの整容がなされている。馴染みの理美容院へ出かける方もいる。又、日常では服を選んでいただくことやお化粧の楽しみを支援している。言葉が発せられない方であっても洋服を目で見てもらい、自己決定していただきおしゃれができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けを工夫し彩りを加えることで、楽しんで食事していただけるよう工夫している。また食事の盛り付けや片付けなどご利用者と一緒に行なっている。ユニット合同で食卓を囲み、食事を楽しんで頂くことも頻繁にある。		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分摂取の重要性について職員が理解し、必要量の確保に努めている。個々に合わせた栄養補助食品や嗜好品なども導入し提供している。又、習慣に応じた個別性を重んじている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを欠かさず行なっている。訪問歯科の診療が必要な方はその都度受けて頂き、歯科医より指導を受けている。うがいができない方にはスポンジブラシ等使用し、口腔内の清潔保持に努めている。食前の口腔体操も行い嚥下機能などの低下予防に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンのリズムや習慣を把握し、基本的におむつの使用はしていない。紙パンツもできるだけ使用せず布パンツでの自立支援をしている。職員は気持ちの良い排泄について学び、排泄の失敗を体感することによってその人の気持ちを汲み支援に生かしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食後のトイレ誘導等日々心がけ、自然排便ができるよう働きかけている。医師、看護師と連携を図り便秘予防や対策も行っている。繊維質の多い食事やヨーグルトなど毎日提供し、個々に応じた対応をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り希望に沿った入浴の支援に努めている。出来るだけ同性の職員が介助を行えるようユニットを超えて連携を図り、心身共に気持ちの良い入浴ができるようにしている。時間や曜日の取り決めは行わず自由に入浴していただき複数同時の仲良し入浴も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居前の生活スタイルを壊さないよう、起床や就寝時間を可能な限り要望に合わせている。日中も午睡や居室での休息が気持ちよくできるよう、その人の習慣や状況に添うようにしている。環境整備にも配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬リストは職員がいつでも確認できる場所にファイルしている。症状の変化などが見られた場合には、職員間での連携を密に図り、速やかに医師・看護師に連絡を行ない確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人にとっての楽しみごとや役割等を、ライフストーリーやアセスメントで情報収集し、日々の生活で継続しながら気分転換ができるよう個性を取り入れた支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>馴染みの飲食店や友人宅訪問等希望に沿った個別支援を実施している。又、家族様や地域の方にご協力いただき定期的な外出・外泊される方もいる。家族旅行を実現される方や、団体での一泊旅行等、本人様と家族様の希望に沿って出かけられるよう支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>希望や能力に応じて買い物ができるようにご家族同意のうえ支援している。職員が付き添い、お金の所持・管理・支払いまでご自分でされる方もいる。職員はお金を持つことの大切さを理解し傍に寄り添うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( B )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の携帯電話での発信・受信、通話等、間に入り戸惑われないよう支援している。又、手紙や年賀状等、直筆で書いていただくことを支援している。ご本人に書いていただく際には、負担にならない程度のアドバイスをさせて頂き、大切な人との関係を壊さないよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室内に温度・湿度計を設置し管理を行い空気清浄機・加湿器を設置し快適に過ごして頂ける環境を作っている。玄関には季節の花を飾り季節感を出している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有スペースには食卓用の椅子の他、ソファを置くことでゆったりと過ごしやすい環境を整えている。また玄関先にもベンチを置き気分を変えて過ごしていただいている。利用者様の希望により家具や席の配置を変えることもある。気の合う仲間同士で思い思いに過ごされるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人が自宅で使われていた馴染みの家具や物品を持って来て頂けるよう入居時にお話ししている。時には畳を敷く等馴染みの環境を大切にしている。ご本人やご家族の写真なども飾っていただいている。なるべく入居前のお住まいに近い形で居室のレイアウトをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	転倒のおそれのある方には、人感センサーを置き、安全に生活できる様配慮している。トイレや居室の位置がわかるように大きく看板や目印をつけている。居室にはそれぞれ表札をつけていただき、ご本人にもわかりやすい配慮をしている。		

V アウトカム項目( A, B ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい大須

作成日 平成31年3月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との有効なつきあい。事業所自体が、地域の一員としての日常的な交流が不十分である。	地域とのつながりや絆を深め、地域包括ケアシステムで求められる認知症グループホームの役割を発信する。	地域主催のお祭りや、椿カフェ・いきいき100歳体操参加等、インフォーマルサービスを有効に活用し、ふれあいの場へ積極的に出かける。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。